

5/1 はかり屋こどもの日

5月1日(日)に、こどもの日に因んだ催しを行います。通常は曜日ごとに日替わり営業をする数店舗もこの日は特別に同時オープン。ジビエのハンバーガーや自家製コーラも販売し、大人も楽しめる内容になっています。

詳しくははかり屋公式 Instagram にて
順次公開予定です。



7/23 レイクアンドビーチ

秋の恒例となった水辺のイベント、レイクアンドビーチが今年は夏にも開催決定！題してレイクアンドビーチ！水辺といえばやっぱり季節は夏でしょう！これまで以上に親水性の高いアクティビティーや、わくわくするレイクサイドコンテンツを計画中です。



今年のお花見は少し賑やかに、見頃を迎えた桜を水上から眺めるイベントに参加してきました。あまり乗り気でない息子を誘って地元の川へ入水。水面から見上げる桜はより一層大きく美しく見えました。 畔上

乗り気でない割にはカヌーの扱いが上手くなっている事にもちょっと驚きました(笑)



桜が満開を迎えた頃、少しお休みをとり京都へ行ってきました。雨予報でしたが当日は快晴！天気が味方をしてくれたおかげで、レンタサイクルやキックボードを使い街中を散策することができました。基本電車移動の私にはこれらが本当に便利で、最近に行く先々で乗り回しています。笑

宿は鴨川近くにあるゲストハウスに宿泊しました。ゲストハウスって、店主の個性が内装や働く店員さんの雰囲気にはっきり現れている所が多くて、好きなんです。1階がカフェ・バーになっており、2階から上階が宿泊スペース。1階では地元の方や宿泊者が入り混じり、初めて来る人もアットホームな雰囲気に包まれる心地の良い時間が流れていました。 小関



自分の暮らす街にもあったらいいなあ。



高橋です！早いもので今年も4分の1が終わってしまいました。大学生にとっては春休みの時期です。相変わらずコロナ禍による様々な制限は無くなりませんが、遊びや3年生への準備など有意義な時間を過ごせたと思います。気がつくと大学生活も半分が終わり、3年生になってしまいました。そして、コロナの制限が減り、いよいよ本格的な対面授業が始まります。楽しみな反面、朝起きるのが辛いです…

1月と4月はそれぞれ、年と年度の切り替わりということで何かと節目にしやすいタイミングです。上手くいったことはそのままに、変えていきたいことはこの4月という節目を期により良くしていきましょう！ 高橋

順声平語 [第17回] まちづくりとは

この続きはwebで公開予定です。



仕事柄「まちづくり」という言葉を何気なく使っています。これまで仕事として主に「家づくり」を中心に建築をつくっていますが、「まちづくり」にも積極的に関わっています。ただこれまでと変わらずつくっているのは「建築」です。決して「まち」をつくっているという認識ではありません。耳馴染みのあるフレーズの「まちづくり」ですが、非常に曖昧な言葉で使われていることに気がつきました。

「まちづくり」は「まち目指し」

では、まちをつくっているのは誰なのでしょう？行政が積極的にまちづくりを行なっている地域もありますが、私有地の建物は民間がつくっています。つまりその地域に関わる人々全員でつくっている事になります。

「まち」は放っておくと勝手に出来上がっていきます。どんな「まち」にするのか？したいのか？というビジョンがなければ無秩序な「まち」が出来上がってしまうのです。つまり「まちづくり」とは関係者のビジョンの共有だといえます。

「まちづくり」は気が付いた人が

「まちづくり」のきっかけはゴミ拾いのようなものだと思います。まちを歩いていると落ちていたゴミをよく発見します。「ゴミを拾えばもっと綺麗なまちになるのに」そんなふとした気持ちでゴミを拾ってみるとこれまでゴミ

だと思っていたものが実は宝石だったりします。良く見ると周りにはたくさん落ちています。

「まちづくり」は「誰が」やるかが重要なのではなく、誰が最初に気が付いて周囲に声を掛けるのかに掛かっています。そんな視点で自分のまちを歩いてみると色々な気付きや発見がきっとあるはずです。

まちの人づくり

地元の「まちづくり」に関わるようになって、良い意味で建築づくりをしている感覚が少なくなりました。何を作っているのだろう？と考えたら、まずは関わる人たちとの人間関係を一生懸命作っている事に気がつきます。「まちづくり」には通常多くの人が関わります。ビジョンの共有をする為にもコミュニケーションが最も重要な要素になります。皆さんに「イイね！」と思って貰うこと、主体的に動いてくれる人が増えることが大切です。

まちの仕掛けづくり

「イイね！」を増やしていくためには対話だけでは限界があります。多くの方に共感を得るために、色々な仕掛け(良い罠)をつくります。イベントの企画や道端に緑やベンチを置いたりすることもまちへの仕掛けだと思います。この仕掛けに上手く引っ掛かると「イイね！」がひとつずつ増えていくのです。

大相模ガルテン

農業を暮らしの一部に取り入れながら、緩やかなコミュニティづくりを目指す分譲地のプロジェクトを進めています。今回は建築のデザインだけでなく、全体のコンセプトデザインを担当させていただいております。

秋の販売に向けて準備を進めております

